

平成28年11月3日

大阪市立中野中学校
川崎先生

貴校におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本校ガーフィールド高校では新年度が始まり、生徒たちは、ペンパルプロジェクトの手紙を受け取り、とても喜んでおります。

ペンパルプロジェクトをとおして、貴校・本校の生徒がともに、英語・日本語を使い、互いの文化を紹介し合うことができると考えております。また、他国について学ぶことがより良い国際理解、生徒同士の長期的な友好関係につながりましたら、とてもうれしく存じます。

相互理解・尊重、言語練習、友好関係の発展が、本校の目標です。ペンパルプロジェクトを通して、貴校とのより良い関係を深められることを心より祈っております。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

敬具

ガーフィールド高校
教員 サラ・アントンスイッチ Sarah Antoncich
教員 グェン・ジョンストン Gwen Johnston
教員(J-LEAP) 今瀬 千鶴

大阪市立三国中学校教頭 小畑達男様

拝啓

突然お手紙を差し上げる失礼をお許してください。

私はアメリカのカリフォルニア州サンフランシスコのプレシディオ中学校で日本語を指導している田中理恵と申します。大阪市立三国中学校のC-NET英語教員のアネット・リー先生とは日米国際交流推進のためにペンパルプロジェクトの意義などの情報交換を度々行っています。

本校は現在日本の中学校2校と交流を行っています。交流内容は手紙やカードの交換、オンラインでのアンケート、ビデオレター交換などです。本校の生徒は日本語学習者、日本での交流校の生徒は英語学習者ですので、日英バイリンガルでの交流を行っています。自分が学習している言語でのやりとりが成立した喜び、海の向こうの同年代の子達が自分の母国語を一生懸命に勉強している姿を見る嬉しさ、実際の同年代の子達から直接聞く異国文化の話の面白さ、普段あまり手にすることのない手紙の新鮮さ、生徒達が手紙やビデオを受け取った時の歓喜の姿は何度見ても感動します。また、教室での活動に困難を抱えている生徒達も、海の向こうの友達にいろいろ伝えたい、理解したいという気持ちで、辞書を片手に真剣に手紙を書いたり読んだりしている姿は大変微笑ましいです。今年、中学生を日本に連れて行きましたが、みんな声を揃えて交流校を訪問してペンパルに会いたいと言っていました。時間の関係で実現しませんでした。ペンパルプロジェクトを通して生徒達の学習意欲と興味関心を高めることができたことを確信しました。

高校でペンパルプロジェクトを行っている学校は多いと思いますが、中高両校で教鞭をとった経験から、英語教育がはじまったばかりの中学校でこそペンパルプロジェクトを進めるべきだと思っています。授業で習ったことを実際に使う機会を与えることで、今後の英語学習への意欲もぐんと違ってくると思います。

ペンパルプロジェクトの件で何か不明な点などがございましたら、いつでもお問合せ下さい。三国中学校でのますますの英語教育の充実をお祈り申し上げます。

敬具

プレシディオ中学校
田中理恵



Presidio Middle School
450 30th Avenue
San Francisco, CA 94121
ferozr@sfusd.edu